



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 日東紡

コード番号 3110

URL <https://www.nittobo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長 (氏名) 辻 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 多田 弘行 (TEL) 03-4582-5040

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	42,762	3.0	3,394	△22.7	3,391	△31.0	2,065	△54.4
2019年3月期第2四半期	41,502	△3.9	4,392	△29.6	4,912	△24.2	4,534	△39.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,335百万円 (△6.9%) 2019年3月期第2四半期 3,581百万円 (△59.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	53.24	—
2019年3月期第2四半期	116.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	173,848	97,018	53.1
2019年3月期	151,000	90,740	59.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 92,255百万円 2019年3月期 89,712百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00			
2020年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	8.2	8,200	0.0	8,300	△7.1	5,800	△27.4	149.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) Baotek Industrial Materials Ltd. 、除外 1社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	39,935,512株	2019年3月期	39,935,512株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,134,357株	2019年3月期	1,133,293株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	38,801,763株	2019年3月期2Q	38,804,192株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資を中心とした民需に支えられ緩やかな回復基調が続いたものの、製造業の企業収益、輸出や生産に減速感が見られました。また、世界経済は、全体としては緩やかな回復基調が継続していましたが、米中貿易摩擦の動向や中国経済の減速、英国のEU離脱問題等、先行の不透明さが増しております。

このような環境の下、当社グループは『中期経営計画《Go for Next 100》』に基づき、中長期で持続的な成長を実現するために高付加価値品へのシフトを進めており、第1四半期連結会計期間よりスペシャルガラスの生産設備を順次立ち上げるとともに、人材投資、研究開発も積極的に実施いたしました。

この結果、連結売上高は42,762百万円（前年同四半期比3.0%の増収）、営業利益は3,394百万円（前年同四半期比22.7%の減益）、経常利益は3,391百万円（前年同四半期比31.0%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,065百万円（前年同四半期比54.4%の減益）になりました。

各事業部門における状況および取り組みは以下の通りです。

繊維事業では、日東紡（中国）有限公司の持分譲渡や市況の低迷によって売上高は減少しましたが、値上げの浸透や中国から日本への生産移管による損益の改善がありました。この結果、当事業は売上高2,006百万円（前年同四半期比20.2%の減収）、営業損失は115百万円（前年同四半期比45百万円の改善）となりました。

グラスファイバー事業部門に属する原織材事業、機能材事業、設備材事業では、高付加価値品へのシフトを進めるべく生産設備を立ち上げており、当第2四半期連結累計期間は基盤強化施策に伴う費用の増加の影響を受けました。グラスファイバー事業部門に属する各事業の状況と具体的な取り組みは以下の通りです。

原織材事業では、電子材料向けガラスヤーンはスマートフォンの生産調整が一段落し回復がみられましたが、強化プラスチック用途の複合材は厳しい状況が続いております。また、基盤強化施策に伴う人件費及び減価償却費の増加に加え物価上昇の影響もあり損益が悪化しました。この結果、当事業は売上高13,122百万円（前年同四半期比3.6%の減収）、営業利益は1,055百万円（前年同四半期比51.6%の減益）となりました。

機能材事業では、高速大容量通信に資する電子材料向けスペシャルガラスの需要が引き続き堅調でした。またBaotek Industrial Materials Ltd.が連結子会社となり売上高が増加しました。この結果、当事業は売上高8,761百万円（前年同四半期比28.4%の増収）、営業利益は1,227百万円（前年同四半期比16.4%の増益）となりました。

設備材事業では、設備・建設資材向けのガラスクロス及び住宅向け断熱材の販売は底堅く推移しましたが、設備投資に伴う減価償却費の増加等により損益が悪化しました。この結果、当事業は売上高10,656百万円（前年同四半期比1.4%の増収）、営業利益は73百万円（前年同四半期比60.8%の減益）となりました。

ライフサイエンス事業では、免疫系体外診断薬を中心に国内、海外向けの販売に注力し販売は堅調でしたが、基盤強化施策に伴う費用の増加の影響がありました。スペシャリティケミカル分野においては、高付加価値品を国内外に安定的に供給しました。また飲料分野では、多品種小ロットの需要への幅広い対応を継続して行いました。この結果、当事業は売上高7,839百万円（前年同四半期比9.1%の増収）、営業利益は1,646百万円（前年同四半期比14.4%の増益）となりました。

その他事業は、産業機械設備関連事業等の収益確保に取り組みました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績および足元の業績動向に加え、2019年9月に発生した当社連結子会社の富士ファイバーグラス株式会社における火災事故、ならびに10月に発生した台風19号の影響を織り込み、2020年3月期通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

## 2020年3月期 通期連結業績予想値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	90,000	8,500	8,800	6,200	159.79
今回修正予想 (B)	89,000	8,200	8,300	5,800	149.48
増減額 (B) - (A)	△1,000	△300	△500	△400	
増減率 (%)	△1.1%	△3.5%	△5.7%	△6.5%	
前期通期実績 (2019年3月期)	82,292	8,198	8,934	7,984	205.76

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,145	25,880
受取手形及び売掛金	25,353	24,623
商品及び製品	7,757	8,049
仕掛品	3,978	4,387
原材料及び貯蔵品	16,850	16,680
その他	2,593	2,793
貸倒引当金	△4	△1
流動資産合計	72,674	82,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,246	14,619
機械装置及び運搬具（純額）	13,400	19,664
土地	12,595	15,671
リース資産（純額）	2,414	2,214
建設仮勘定	5,973	7,238
その他（純額）	892	1,755
有形固定資産合計	47,523	61,163
無形固定資産	1,680	2,685
投資その他の資産		
投資有価証券	24,757	23,929
退職給付に係る資産	287	287
繰延税金資産	2,935	2,144
その他	1,177	1,259
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	29,122	27,584
固定資産合計	78,326	91,433
資産合計	151,000	173,848

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,415	6,977
短期借入金	7,708	8,982
1年内返済予定の長期借入金	5,290	5,932
リース債務	449	443
未払法人税等	532	698
賞与引当金	1,110	1,115
その他	7,559	9,235
流動負債合計	32,066	33,384
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	9,696	14,908
リース債務	2,445	2,236
修繕引当金	5,013	5,002
退職給付に係る負債	9,805	9,463
その他	1,232	1,834
固定負債合計	28,193	43,444
負債合計	60,259	76,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	51,440	52,645
自己株式	△2,544	△2,546
株主資本合計	87,633	88,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,542	5,636
為替換算調整勘定	429	△464
退職給付に係る調整累計額	△1,892	△1,752
その他の包括利益累計額合計	2,079	3,419
非支配株主持分	1,027	4,763
純資産合計	90,740	97,018
負債純資産合計	151,000	173,848

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	41,502	42,762
売上原価	27,481	29,324
売上総利益	14,021	13,437
販売費及び一般管理費	9,629	10,043
営業利益	4,392	3,394
営業外収益		
受取利息	28	34
受取配当金	336	339
持分法による投資利益	—	29
受取賃貸料	40	40
為替差益	320	—
その他	150	94
営業外収益合計	877	538
営業外費用		
支払利息	100	124
為替差損	—	70
休止賃貸不動産関連費用	160	164
その他	96	181
営業外費用合計	357	541
経常利益	4,912	3,391
特別利益		
固定資産売却益	294	48
投資有価証券売却益	883	227
特別利益合計	1,178	275
特別損失		
固定資産処分損	257	85
減損損失	273	6
関係会社出資金売却損	—	351
災害による損失	223	192
その他	—	108
特別損失合計	754	744
税金等調整前四半期純利益	5,335	2,923
法人税、住民税及び事業税	388	866
法人税等調整額	395	△65
法人税等合計	784	800
四半期純利益	4,551	2,122
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,534	2,065



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	4,551	2,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△580	2,087
為替換算調整勘定	△450	△1,120
退職給付に係る調整額	142	140
持分法適用会社に対する持分相当額	△80	107
その他の包括利益合計	△969	1,213
四半期包括利益	3,581	3,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,559	3,406
非支配株主に係る四半期包括利益	21	△70

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,335	2,923
減価償却費	1,942	2,479
減損損失	273	6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△220	△171
修繕引当金の増減額(△は減少)	△1,462	△11
受取利息及び受取配当金	△365	△373
支払利息	100	124
持分法による投資損益(△は益)	—	△29
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△883	△225
関係会社出資金売却損益(△は益)	—	351
固定資産除売却損益(△は益)	△37	37
売上債権の増減額(△は増加)	△82	960
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,440	604
仕入債務の増減額(△は減少)	△257	△2,354
その他	721	689
小計	3,625	5,010
利息及び配当金の受取額	365	373
利息の支払額	△97	△110
法人税等の支払額	△2,547	△493
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,345	4,781
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△4,972	△9,749
固定資産の売却による収入	578	82
投資有価証券の取得による支出	△3,953	△50
投資有価証券の売却による収入	2,053	670
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,204
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による支出	—	△856
その他	△301	124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,595	△10,983
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	582	1,143
長期借入れによる収入	7,780	8,630
長期借入金の返済による支出	△2,962	△2,776
社債の発行による収入	—	10,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△308	△219
配当金の支払額	△873	△776
その他	△13	△125
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,204	15,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	△149	△109
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,194	9,564
現金及び現金同等物の期首残高	18,324	16,145
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	152
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,129	25,861

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」の「その他」が398百万円増加し、「流動負債」の「その他」が43百万円及び「固定負債」の「その他」が437百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、「利益剰余金」の当期首残高は85百万円減少しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維 事業	原織材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	2,515	13,617	6,825	10,513	7,187	40,658	844	41,502	—	41,502
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4	3,292	27	106	114	3,546	1,311	4,857	△4,857	—
計	2,519	16,909	6,853	10,620	7,301	44,205	2,155	46,360	△4,857	41,502
セグメント利益 又は損失(△)	△161	2,180	1,054	187	1,438	4,699	140	4,839	△447	4,392

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業及び産業機械設備関連事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△447百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維 事業	原織材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	2,006	13,122	8,761	10,656	7,839	42,386	376	42,762	—	42,762
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8	3,975	138	120	220	4,463	1,752	6,215	△6,215	—
計	2,014	17,098	8,900	10,776	8,060	46,849	2,128	48,978	△6,215	42,762
セグメント利益 又は損失(△)	△115	1,055	1,227	73	1,646	3,887	281	4,168	△773	3,394

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業及び産業機械設備関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△773百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。